

平成 18 年 9 月 27 日

平成 18 年度学術ポータル担当者研修レポート

琉球大学附属図書館

受講者番号 25 番 伊波ひとみ

受講者番号 26 番 古謝久美子

1. 発表資料について

研修当時の状況設定は、図書館長が工学部所属であることから「工学部教授会を借りて 5 分程度のプレゼンテーションを行い、リポジトリへの理解とコンテンツ提供の協力を求める」としていたが、実際に 11 月に学内説明会を実施することを受けて、状況設定を「はじめて行われる学内説明会であり、全学の教職員を対象とする」へと変更した。

発表の内容構成は、研修時と大きな変更はなく、「1. リポジトリとは」「2. 導入状況」「3. リポジトリのメリット」「4. データ提供のお願い」の 4 部構成とした。

研修当日、各講師からいただいた助言は下記の 3 点であった。

- ① 先生方にして欲しいことは何なのか明確にしたほうがよい。
- ② 説明資料（配付資料）が必要。
- ③ 対象が工学系の場合、特許にも留意したほうがよい。（知的財産本部との連携が必要）

これを受けて、下記の 3 点について改訂を行った

- ① 説明対象が工学系だけでなく全学向けになったが、様々な分野で対応できるように、リポジトリ導入のメリットを具体例も交えて強調した。
- ② 1 枚物の配布資料を作成した。
- ③ コンテンツ登録時の確認事項として特許に関する事項も説明に盛り込んだ。

2. リハーサルプレゼンテーションについて

改訂した発表資料を元に、下記の要領でリハーサルプレゼンテーションを行った。

日 時：2006 年 8 月 28 日(月) 10:30～11:00（うち質疑応答 10:45～11:00）

場 所：附属図書館会議室

発表者：伊波、古謝

参加者：図書館職員 19 名（部長以下、常勤・非常勤職員）

簡単なアンケートをとった結果、おおむねリポジトリの意味は理解できた、説明もわかりやすいとの評価だった。しかし、「自分が研究者だったら投稿したいか」という質問に対して、投稿したくない人はいなかったが、「条件を整えば投稿する」という意見が多くあり、その条件は具体的には挙げられなかった。1 回の説明会だけでは、リポジトリに対する理解は難しいと実感した。また、これは補足的なことではあるが、一般の方が興味を持つと思われるコンテンツ内容として以下の内容が挙げられた。

- ・ 沖縄に関連する産業情報（農業、建設、観光、医療・健康食品など）
- ・ 社会情報（基地、高齢化問題）
- ・ 沖縄文学的な論文
- ・ 海洋自然関係（理学部海洋学科があるから）

3. 今後の予定について

11 月中に学内説明会を開催し、その後個別に講座などへの説明会を行う。並行して、学内規程の整備を行い、学内全体の事業であることを印象付ける。また、論文データをリストアップして、教官個人に対しても論文提供を依頼していく予定である。